

令和2年度

社会人入試学生募集要項



鹿屋体育大学

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

公式ホームページ <https://www.nifs-k.ac.jp/>

目 次

| | | |
|----|----------------------|----|
| 1 | 趣旨・目的 | 1 |
| 2 | 学部、課程及び募集人員 | 1 |
| 3 | 出願資格 | 1 |
| 4 | 選抜日程 | 2 |
| 5 | 選抜方法 | 2 |
| 6 | 出願書類等の提出先及び照会先 | 5 |
| 7 | 出願方法 | 5 |
| 8 | 出願期間 | 6 |
| 9 | 受験票等の送付 | 6 |
| 10 | 試験場 | 6 |
| 11 | 合格者の発表 | 6 |
| 12 | 入学確約書の提出 | 6 |
| 13 | 社会人入試不合格者の取扱い | 6 |
| 14 | 入学手続・入学料等 | 6 |
| 15 | 入学手続についての留意事項 | 7 |
| 16 | 障害のある者等の事前相談 | 7 |
| 17 | その他 | 7 |
| | ◆問い合わせ先 | 8 |
| | ◆入試情報の提供 | 8 |
| | ◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法 | 8 |
| | ◆本学までの主な交通経路 | 9 |
| | ◆鹿屋体育大学位置図 | 10 |
| | ◆受験の際の宿泊施設について | 10 |
| | ◆タブレット必携化について | 10 |
| | ◆入学検定料の払込取扱票等の記入方法 | 11 |

【添付書類】

- ① 入学願書
- ② 志願理由書
- ③ 履歴書
- ④ 指定調書
- ⑤ 受験票・写真票【裏面：実技検査票(A)・実技検査票(B)】
- ⑥ 払込取扱票
- ⑦ 【入学検定料振替払込受付証明書(お客さま用)】貼付用台紙
- ⑧ 入学試験関係書類在中封筒（黄色）
- ⑨ 出願用封筒（薄緑色）

【選抜日程等】

| | |
|---------|-------------------------|
| 出 願 期 間 | 令和元年11月1日(金)～11月6日(水) |
| 選 抜 日 程 | 令和元年11月21日(木)・11月22日(金) |
| 合格者発表日 | 令和元年12月4日(水) |
| 入学手続期間 | 令和2年2月14日(金)～2月19日(水) |

令和2年度 鹿屋体育大学社会人入試学生募集要項

鹿屋体育大学の使命・教育理念

1981年に開学した国立大学唯一の体育系単科大学である鹿屋体育大学は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりの分野において実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー・指導者を養成することを使命とし、本学の教育課程を核に、社会人としての豊かな教養の涵養や将来を展望し、勤労観・職業観を醸成しつつも、体育学に関してあらゆる専門性の深化と充実を目指します。

アドミッション・ポリシー(AP) 求める学生像

- ① 体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生
- ② 自己表現ができる学生
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- ③ 新たな課題に挑む意欲のある学生
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

1 趣旨・目的

体育・スポーツ、武道の分野において、現に社会人として活躍している、若しくは活躍していたトップクラスの競技者及び健康づくりや生涯スポーツの指導者に対して、広く大学教育の機会を提供するために社会人入試を実施します。

2 学部、課程及び募集人員

| 学 部 | 課 程 | 募 集 人 数 |
|------|----------|---------|
| 体育学部 | スポーツ総合課程 | 若干人 |
| | 武 道 課 程 | 若干人 |

スポーツ総合課程

トップレベルのアスリートの育成や科学的サポート、ジュニア期からの一貫指導、生涯にわたるスポーツ・健康づくりのコーディネートなどに関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、自身の進路選択に合わせて講義や実技を履修することができます。

武道課程

武道に関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、武道に関する講義や実技(柔道、剣道)を必ず履修することになります。

上記のことを参考に本学の課程を選択してください。

3 出願資格

社会人入試に出願できる者は、次の(1)～(8)のいずれかに該当し、令和2年4月1日現在、年齢が21歳以上であり、3年以上社会人としての経験を有する者でなければなりません。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (6) 文部科学大臣の指定した者
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - (8) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの
- (注) 上記(8)により出願する場合は、事前に審査を行いますので、出願に先立ち、本学教務課入試係へお問い合わせください。

4 選抜日程

| 試験日時 課程名 | 11月21日（木） | | 11月22日（金） |
|-------------|------------|-------------|------------|
| | 9:00～10:00 | 10:30～17:00 | 8:30～17:00 |
| スポーツ総合課程 | 小論文 | 面接 健康診断 | 実技検査 |
| 武道課程 | | | |

5 選抜方法

社会人入試は、本学が行う試験（小論文、面接及び実技検査）の成績、出願書類及び健康診断の結果を総合して選抜します。

なお、大学入試センター試験は課しません。

合否判定の基本方針

- ① 小論文、面接、実技検査、出願書類及び健康診断の結果を総合的に判定し、合格者を決定します。
- ② 次の事項に該当する者については、不合格とします。
 - ア 実技検査の結果が「否」の者
 - イ 面接の結果が「1」の者
 - ウ 健康診断の結果、修学に耐えられないと判断された者

(1) 本学が行う試験（小論文、面接及び実技検査）

① 小論文

本学の教育を受けるにふさわしい資質をみるため、競技スポーツ、生涯スポーツ、武道、健康・体力等の領域から600字程度の小論文を課します。

【採点・評価基準】

理解力・思考力・表現力等について総合的に100点満点で評価します。

② 面接

本学の教育を受けるにふさわしい適性をみるため、複数の面接員による7分程度の個人面接を行います。

【採点・評価基準】

学習意欲、競技意欲について質問し、積極性、計画性、独創性の観点から5段階で評価します。また、それらの回答全体から品格、マナー、課題解決力についても5段階で評価します。

③ 実技検査（各種目検査又は運動能力検査）

次頁のとおり課程別に指定した各種目検査又は運動能力検査で実施します。各種目検査では、受験者の基礎的な運動技能の評価を行い、運動能力検査では、受験者の基礎的な身体資質を測定します。

なお、実技検査の結果は合否で判定します。

○スポーツ総合課程

次表の種目から1種目又は運動能力検査のどちらかを選択してください。

| 種目 | 検査内容 | 評価の観点 |
|-------------------|--|---|
| 陸上競技 | 次の種目のうちから1種目を選択し、その選択した種目について、実施します。 100m, 1500m, 走幅跳, 砲丸投 | ア 検査種目の記録 イ 技術 |
| 器械運動 | 次の種目のうちから選択した2種目の基本技術について実施します。 (男子) マット, 跳び箱, 鉄棒 (女子) マット, 跳び箱, 平均台 | ア 技の正確さ, 大きさ イ 技の調整力, リズム |
| 水泳 | 次の競泳種目のうちから選択した1種目について実施します。 自由形 (50m), 平泳ぎ (50m), 背泳ぎ (50m), バタフライ (50m) | ア 泳力 イ 泳法 |
| バスケットボール | 次の各項目について実施します。 体力測定, シュート, 1対1の攻防, 5対5の攻防 | ア 体力 イ シュート力 ウ 攻防の技能 エ ゲームの組立 |
| サッカー | 基本技術 (ボールコントロール, ドリブル), 対人技術 (4対4の攻防), 身体適性能力 (シャトルラン) 及びゲームでのポジション別専門技術について実施します。 | ア 体力 イ 基礎技術 ウ 戦術 |
| テニス | 次の各項目について実施します。 ゲーム (シングルス及びダブルス), 体力測定 (5方向走) | ア 基礎技術 イ 応用技術・戦術 ウ 体力 |
| バレーボール | 次の項目について実施します。 3対3ゲーム | ア 技術 イ 戦術 |
| 海洋スポーツ (セーリング) | 次の競技のうちから一つを選択し、その選択した競技について実施します。 | |
| | ヨット | 次の各項目について実施します。 一人乗りディンギー (レーザーラジアル) の艀装・解装, チューニング, 帆走 ----- 【悪天候時】 次の各項目について実施します。 一人乗りディンギー (レーザーラジアル) の艀装・解装, チューニング, 体力テスト |
| 海洋スポーツ (セーリング) | ボードセーリング | 次の各項目について実施します。 ボードセーリング(テクノ293クラス) のセッティング, リグ部のチューニング, セーリング ----- 【悪天候時】 次の各項目について実施します。 ボードセーリング(テクノ293クラス) のセッティング, リグ部のチューニング, 体力テスト |
| | 次の競技のうちから一つを選択し、その選択した競技について実施します。 | |
| 海洋スポーツ (ローイング) | ボート | 次の項目について実施します。 1000mローイングエルゴ漕 |
| | カヌー | 次の項目について実施します。 500mカヌーエルゴ漕 |

○武道課程

次表の種目から1種目又は運動能力検査のどちらかを選択してください。

| 種目 | 検査内容 | 評価の観点 |
|----|--|---|
| 柔道 | 次の各項目について実施します。 受身 講道館柔道投の形（手技、腰技、足技の各技の中からそれぞれ一つずつ指定された技を実施する（左右行う）。） 立技打込・固技の基本等（連絡変化技を含む。） 試合 | ア 柔道の基本動作 イ 基本的投技・固技技能 ウ 応用的投技・固技技能 エ 実践的技能・戦術 |
| 剣道 | 次の各項目について実施します。 日本剣道形（太刀の形 1本目～3本目） 切り返し 試合（稽古） | ア 剣道形の作法・所作・理合 イ 切り返しの理法と習得 ウ 基本と応用の統合性・打突行動 |

○両課程共通

| | |
|----------------|--|
| 運動能力検査 検査内容 | 自転車エルゴメータによる持久性テスト 垂直跳テスト リバウンドジャンプテスト 敏しょう性テスト |
|----------------|--|

なお、運動能力検査の前に、形態的特性の基本データを得るため、身長・体重の測定を行います。

- (注) ア 出願後は実技検査種目の変更を認めません。
 イ 受験する実技検査種目に適する服装・履物を必ず持参してください。ただし、文字やマークによりチーム（学校）名を特定できるユニフォーム・道衣等の着用は禁止します。
 ウ 競技用シューズを用いてよいですが、体育館シューズとグラウンドシューズは、区別してください。
 エ 柔道衣、剣道具等は、各自が持参してください。
 オ ゼッケン(縦 18 cm×横 25.5 cmの白布に、受験番号を記入したもの)を2枚作成し、ユニフォームの胸と背中にそれぞれ縫い付けておいてください。ただし、次の種目については、以下のとおりとします。
 ・ 陸上競技：ゼッケンの取扱いについては、後日送付する「実技検査（陸上競技）受験上の注意」を参照すること。
 ・ 器械運動：背中に縦 10 cm×横 15 cmサイズのゼッケンを1枚縫い付けておくこと。
 ・ 運動能力検査：着衣の胸に1枚縫い付けておくこと。
 ・ 柔道：柔道衣の背中に1枚縫い付けておくこと。
 なお、水泳、ヨット、ボードセーリング及び剣道を選択する受験者は、ゼッケンの用意は不要です。
 カ 更衣室については、当日指示しますが、更衣後の衣服等を整理するために、袋やバッグ等を用意してください。
 キ 受験に当たっては、各自事前のトレーニングをしておいてください。
 ク 検査順序・検査内容及び方法に関する説明は、試験当日行います。事前の問い合わせには一切応じません。
 ケ 詳細は、後日送付する受験者心得を参照してください。

(2) 健康診断

実技検査の安全を期するため及び入学後の履修における支障の有無を確認するため、受験者全員に健康診断を行います。

健康診断は、面接日に心音・心電図の測定及び健康調査票（当日配付）により行います。

なお、精密検査を受ける必要がある者については、試験当日、別途指示します。

6 出願書類等の提出先及び照会先

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL 0994-46-4869 FAX 0994-46-2515

7 出願方法

出願書類等を一括し、本要項に添付の出願用封筒（薄緑色）を用いて必ず書留速達にて郵送してください。直接持参しても差し支えありません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。

また、出願書類受付後は、記載内容の変更は認めません。

| 出 願 書 類 等 | 摘 要 |
|------------------------|--|
| 入 学 願 書 | 本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。 |
| 志 望 理 由 書 | 志願するに至った理由及び本学で学びたい事柄を記入してください。 |
| 履 歴 書 | 高等学校等の卒業（修了）から現在に至るまでの履歴について、空白期間のないように記入してください。 |
| 指 定 調 書 | 本学所定の様式に所要事項を記入してください。 なお、特筆すべき諸活動等がない場合には「なし」と記入し、その場合でも、氏名(フリガナ)、性別、生年月日は必ず記入してください。 |
| 受 験 票 ・ 写 真 票 | 本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。 写真（上半身、無帽、正面向きのもので、縦4cm×横3cm、最近3ヶ月以内に撮ったもの。カラー・白黒は問わない。写真の裏面に氏名を記入のこと。）を貼付してください。 |
| 実 技 検 査 票 (A) ・ (B) | 受験する種目は(A)・(B)票 [受験票・写真票の裏面] が必ず一致するように正確に記入してください。 |
| 調 査 書 (要厳封) | (1) 文部科学省が定めた様式により出身学校長が作成し、 <u>厳封したものを提出してください。</u> なお、廃校・被災その他の事情により調査書の提出が困難な場合は、別途提出の指示を行いますので、出願期間前までに教務課入試係へ連絡してください。 (2) 高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)は、その合格成績証明書をもって調査書に代えます。 なお、高等学校等に在籍したことがある者は調査書を併せて提出してください。 (3) 専修学校高等課程の学科を修了した者等で、調査書が得られない場合は、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。 |
| 卒 業 (修 了) 証 明 書 | 出身学校長が作成したものを提出してください。 |
| 入 学 検 定 料 (17,000円) | 同封している払込取扱票に必要事項を記入(11頁を参照)して、令和元年10月25日(金)以降に郵便局の受付窓口で払い込んでください。ATMからの払込みはしないでください。 なお、払込手数料は、依頼人負担となります。 払込取扱票等の※欄は、志願者本人の住所・氏名・電話番号等を必ず記入してください。 入学検定料を払い込んだ後、振替払込受付証明書(お客さま用)に受付局日附印があることを確認し、本学所定の台紙に貼付して出願してください。 また、下記の場合以外は、既納の検定料はいかなる理由があっても返還しません。 ア 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合 該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。 イ 検定料を払い込み後、本学に出願しなかった場合 ウ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合又は所定の金額より多く払い込んだ場合 上記イ及びウについては、本人の申し出により納入された検定料又は超過分を返還することができますので、必ず令和元年11月20日(水)までに教務課入試係(電話0994-46-4869)へ連絡してください。 |

封筒（黄色）
[入学試験関係書類在中]

受験票及び受験者心得等を送付する際に使用しますので、本学所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、郵便切手(420円)を貼付して提出してください。また、封筒に記載の「殿」は消さないようにしてください。

（注）日本語以外で書かれている書類については、必ず日本語の訳文を添付してください。

8 出願期間

令和元年11月1日（金）～11月6日（水）とします。

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

ただし土曜日、日曜日、祝日及び振替休日は、受付を行いません。

② 郵送の場合は11月6日（水）17時15分必着とします。

（注）出願期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。

9 受験票等の送付

受験票、受験者心得及びその他の書類が、令和元年11月17日（日）までに到着しない場合は、11月18日（月）8時30分以降に必ず教務課入試係に電話で照会してください。

10 試験場

鹿屋体育大学

所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地 TEL 0994-46-4869

試験場については、9・10頁の位置図等を参照してください。

11 合格者の発表

令和元年12月4日（水） 10時

本学事務局玄関前に合格者受験番号を掲示し発表するとともに、合格者には合格通知書及び関係書類を送付します。

本学ホームページ (<https://www.nifs-k.ac.jp/>) 上で、「合格者受験番号一覧表」を掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

また、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

12 入学確約書の提出

合格者には、合格通知書とともに「入学確約書」を送付しますので、本人及び保証人が連署して、令和元年12月20日（金）までに必ず提出してください。

13 社会人入試不合格者の取扱い

社会人入試の結果、不合格となった者で大学入試センター試験のうち本学が指定した教科・科目を受験した者は、本学の一般入試を受験することができます。

なお、本学の受験に当たっては、「令和2年度鹿屋体育大学一般入試学生募集要項」（令和元年11月上旬から配付）により再度出願手続を行ってください。

その際、入学検定料17,000円はあらためて必要となります。

[参考]

令和2年度大学入試センター試験出願期間 令和元年9月30日(月)～10月10日(木)

令和2年度鹿屋体育大学一般入試出願期間 令和2年1月27日(月)～2月5日(水)

14 入学手続・入学料等

社会人入試合格者には、入学手続書類を送付しますので（令和2年1月中旬頃）、下記(1)入学手続期間内に入学手続を完了してください。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、本学の社会人入試合格者としての権利が消滅するので注意してください。

(1) 入学手続期間 令和2年2月14日(金)～2月19日(水)とします。

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

ただし、土曜日、日曜日は受付を行いません。

- ② 郵送の場合は2月19日(水)17時15分必着とします。
(注) 入学手続期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。

(2) 提出書類

- ① 本学社会人入試受験票
② 誓約書
③ 保証書
④ 写真 1枚(縦4cm×横3cm)
⑤ 大学入試センター試験受験票(大学入試センター試験の出願をした者のみ。)
⑥ その他の書類等(「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。)

(3) 入学料等学生納付金

- ① 入学料 282,000円 (予定額)
② 授業料 前期分 267,900円 (〃)
年額 535,800円 (〃)

ア 入学料及び授業料については、予定額をお知らせしています。改定があった場合には、随時お知らせします。

イ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

- ③ 諸経費(体育会費、学生教育研究災害傷害保険料、スポーツ安全保険料、同窓会会費等)
76,060円(令和元年度入学実績)

令和2年度の諸経費の詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。

(注) ア 入学手続完了者が令和2年3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により諸経費を返還します。

なお、入学料については返還しません。

イ 入学料・授業料及び諸経費の納入方法については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。

ウ 入学料・授業料の納付が著しく困難な者には、入学料免除、入学料徴収猶予及び授業料免除の制度があります。

詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。

15 入学手続についての留意事項

- (1) 入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。
(2) 本学の入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ)に入学手続をすることができません。
(3) 入学手続には「本学社会人入試受験票」と「大学入試センター試験受験票(大学入試センター試験の出願をした者のみ)」が必要です。紛失しないよう注意してください。
(4) 入学手続の詳細については、合格者に対して送付する「入学手続等に関する手引き」を参照してください。

16 障害のある者等の事前相談

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)のある者等で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、令和元年10月18日(金)までに、あらかじめ本学に電話で相談してください。

17 その他

- (1) 入学者選抜に関し、不正な行為又は虚偽の事実があった場合には、合格を取り消すことがあります。
(2) 出願書類は返却しません。
(3) 受験についての詳細は、出願書類を提出した者に送付する「受験者心得」を参照してください。
(4) **試験開始時刻(面接、健康診断及び実技検査は集合時刻)に30分を超えて遅刻した者は、その科目等の受験は認めません。**
(5) 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき、個人情報(出願書類への記載内容及び試験成績)については、入学者選抜に係る業務(追跡調査を含む。)及び修学指導

に使用します。

また、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として使用します。

- (6) 学生募集要項に関し、不明な点や質問がある場合は、下記の問い合わせ先に照会してください。
なお、電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

◆問い合わせ先：〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL 0994-46-4869 FAX 0994-46-2515

◆入試情報の提供

本学公式ホームページ (<https://www.nifs-k.ac.jp/>) で、入試情報等を提供しています。
ホームページ上で、「合格者受験番号一覧表」を掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法

本人に開示する入試情報は、試験成績です。

申込期間： 令和2年5月1日から6月30日まで（土曜・日曜・国民の祝日（振替休日を含む）を除く。）

申込方法： 受験者本人が来学の上、申し込んでください。

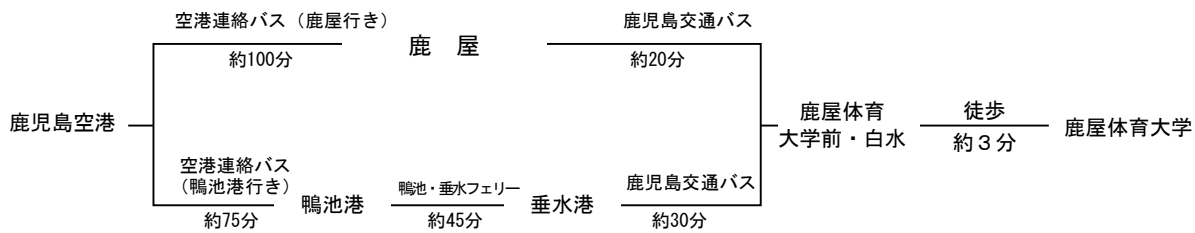
なお、その際に受験票又は身分を証明できるものと返信用封筒（受験者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、392円切手（※）を貼付したもの）を持参してください。

また、来学することが困難な者で、本人である確認が取れた受験者については、郵送等による申込みを受け付けます。

※郵便料金の変更があつた場合は、変更後の料金を適用します。

◆本学までの主な交通経路

1 空の便



鹿児島空港からの経路

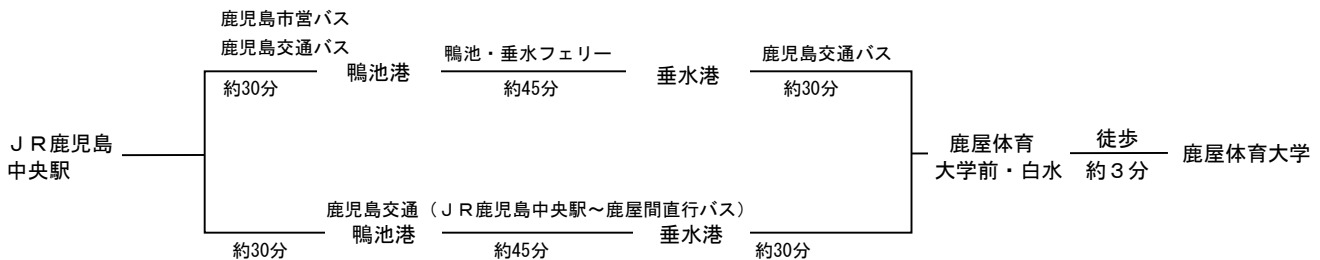
- 鹿児島空港から鹿屋市街地まで空港連絡バス（「鹿屋・東笠之原」行きのみ）が運行していますので、乗車し、「鹿屋」で下車してください。【所要時間 約100分】
 「鹿屋」からは「垂水」，「垂水港」又は「中央病院」行きのバスに乗り「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約20分】
- 鹿児島空港から鹿児島市内行きの空港連絡バスが出ていますが、乗車前に行き先が「鴨池港」行きであることを確認の上乗車し、終点の「鴨池港」で下車してください。【所要時間 約75分】

下車した所が鹿児島交通株式会社のフェリー（鴨池・垂水フェリー）発着所となっていますので、そこから「垂水港」行きフェリーに乗船してください。【所要時間 約45分】

垂水港からは鹿児島交通バスが接続していますので、「志布志」又は「東笠之原」行きに乗車し、「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約30分】

なお、タクシーを利用した場合、垂水港から本学までの所要時間は約30分です。

2 陸の便

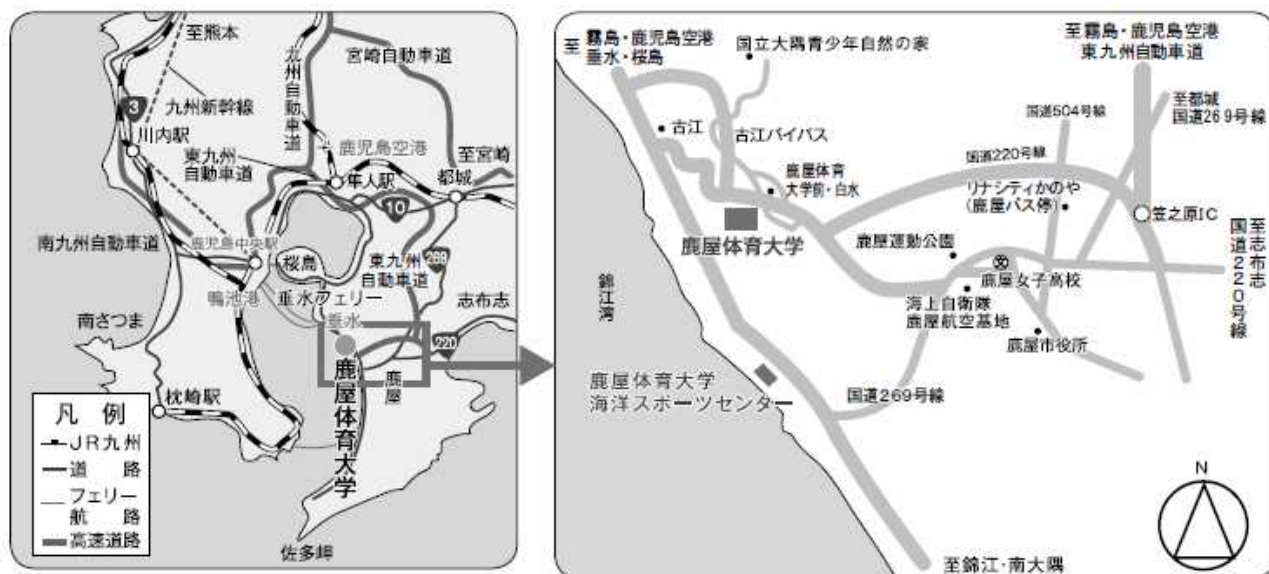


JR鹿児島中央駅からの経路

- JR鹿児島中央駅前から鹿児島市営バス又は鹿児島交通バスの「鴨池港」行きに乗車し、終点の「鴨池港」で下車してください。【所要時間 約30分】
 タクシーを利用した場合、JR鹿児島中央駅から鴨池港までの所要時間は約20分です。
 なお、鴨池港（フェリー発着所）から本学までの経路は、「鹿児島空港からの経路」の②と同じです。
- JR鹿児島中央駅前から鹿児島交通のJR鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスに乗車し、「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約105分】

（注）交通経路によっては、便数が限られていますので、バス等の運行状況（時刻表等）を事前に確認してください。

◆鹿屋体育大学位置図



◆受験の際の宿泊施設について

受験のための宿泊施設の斡旋は本学では行いませんが、「受験者心得」に、鹿屋市内の宿泊施設一覧表を同封しますので参照してください。

なお、「受験者心得」送付前に宿泊申込等を希望される場合は、下記に問い合わせてください。

問い合わせ先

鹿屋市ホテル旅館組合（ニューワールドホテル）

TEL 0994-44-7000

◆タブレット必携化について

本学では、情報活用能力の育成と情報通信技術を活用した実践的指導力を養成するために、タブレットを用いた教育や学習支援を実施しております。

なお、準備いただくタブレットの仕様等の詳細については、令和2年1月中旬頃に送付する入学手続書類をご確認ください。

◆ 入学検定料の払込取扱票等の記入方法

(注) 入学検定料の払込みは、令和元年10月25日(金)以降に郵便局の窓口で払込んでください。
ATMからの払込みはしないでください。

払込みが済んだら、この部分を本学所定の台紙に貼付し、提出してください。

各自保管

| 00 福岡 | | 払込取扱票 | | | | |
|---------------------------|---------------------|-----------------------|----|---|---|---|
| 口座記号番号 | 017404 | 金額 | 千 | 百 | 十 | 円 |
| | 52728 | | 1 | 7 | 0 | 0 |
| 加入者名 | 国立大学法人 鹿屋体育大学 | 料金 | 備考 | | | |
| ※ 志願課程 | 体育学部 (スポーツ総合・武道) 課程 | ご依頼人・通信欄 | | | | |
| | 該当する課程を○で囲んでください。 | おとこ | | | | |
| | おなまえ(フリガナ) | 日 附 印 | | | | |
| | 電話番号 | 銀行(承認番号10280号) | | | | |
| 裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ) | | これより下部には何も記入しないでください。 | | | | |
| 各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。 | | この受領証は、大切に保管してください。 | | | | |

| 振替払込請求書兼受領証 | |
|-------------|---------------|
| 口座記号番号 | 017404 |
| 加入者名 | 国立大学法人 鹿屋体育大学 |
| 金額 | 千 百 十 千 百 十 円 |
| | ¥ 1 7 0 0 0 |
| ※ 振込先 | ご依頼人 |
| | 様 |
| 料 金 | 日 附 印 |
| 備 考 | |

| 振替払込受付証明書(お客さま用) | |
|------------------------|-----------------|
| (ご依頼人⇒郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人) | |
| 口座記号番号 | 017404-52728 |
| 加入者名 | 国立大学法人 鹿屋体育大学 |
| 払込金額 | 千 百 十 万 千 百 十 円 |
| | ¥ 1 7 0 0 0 |
| 志願課程名 | ※ () 課程 |
| ご依頼人住所氏名 | |
| | 日 附 印 |

志願者の住所、氏名、電話番号等を記入してください。

志願者の氏名を記入してください。

志願者の志願課程、住所及び氏名を記入してください。

出 願 の 際 の 注 意

出願書類等を一括し、本学所定の出願用封筒（薄緑色）により郵送（書留速達）又は直接持参してください。

なお、次の書類が入っているか確認してから提出（郵送）してください。

| 社会人入試志願者提出書類 | |
|--------------|--|
| 1 | 入学願書 |
| 2 | 志願理由書 |
| 3 | 履歴書 |
| 4 | 指定調書 |
| 5 | 受験票・写真票【裏面：実技検査票（A）・（B）】 |
| 6 | 調査書（厳封したもの） |
| 7 | 卒業（修了）証明書 |
| 8 | 入学検定料（17,000円）の「振替払込受付証明書（お客さま用）」を本学所定の台紙に貼付したもの |
| 9 | 封筒（黄色）「入学試験関係書類在中」（420円分の切手を貼付したもの） |
| | 注）封筒に記載の「殿」は消さないようにして下さい |

出願用封筒の表の記入欄に、志願課程・志願者氏名・住所が記入してあるか再度確認してから提出（郵送）してください。